

秋田

# 遊歩道をライトアップ

## 500個のランタンともす

秋田商工会議所は8月17、18日、千秋公園大手門の堀にある遊歩道を500個のLEDランタンでライトアップし、光の遊歩道を演出した。同イベントは、堀に咲くハスの魅力を発信する「千秋蓮まつり2024」の一環。千秋公園は江戸時代に



温かみのある光を放つランタン

秋田藩を統治した佐竹氏の居城「久保田城」跡に位置する由緒ある公園から徒歩圏内にある公園で、秋田駅から徒歩圏内にある秋田市立美術劇場ミルハウスのほか、近隣の文化施設で行われたイベントなどで設置されたイラスト描画コーナーで地元住民が描いたもの。子どもたちがハスの花や竿燈（かんとう）などの絵を描いている姿も見られた。台紙はライトアップ後、21～31日に同美術劇場の多目的スペースに展示された。

秋田商工会議所は8月17、18日、千秋公園大手門の堀にある遊歩道を500個のLEDランタンでライトアップした。同イベントは、堀に咲くハスの魅力を発信する「千秋蓮まつり2024」の一環。千秋公園は江戸時代に

人が訪れた。日間で延べ約3800人間で延べ約3800人が訪れた。

ランタンは、7月11日に完成したばかりの3つの遊歩道の両脇に配置され、両日とも午後7～10時にライトアップが行われた。温かみのあるオレンジ色の明かりがともり、幻想したい」と話している。

同所担当者は、「ランタンのライトアップが行われた。温かみのあるオレンジ色の明かりがともり、幻想したい」と話している。